



償還交付運用報告書

# 日米4資産スマートバランス

＜愛称＞ きんとう君

追加型投信／内外／資産複合

満期償還

作成対象期間：2023年1月11日～2024年1月5日

**最終期** 償還日：2024年1月5日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「日米4資産スマートバランス」は、2024年1月5日をもちまして満期償還いたしました。

当ファンドは、米国と日本の株価指数先物取引および債券先物取引、先進国の公社債等への投資を通じて、信託財産の着実な成長を図ることを目的とします。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につきお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

### ▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>

にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



## SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル  
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

償還時 2024.1.5

償還価額 9,694円79銭

純資産総額 15百万円

最終期

2023.1.11～2024.1.5

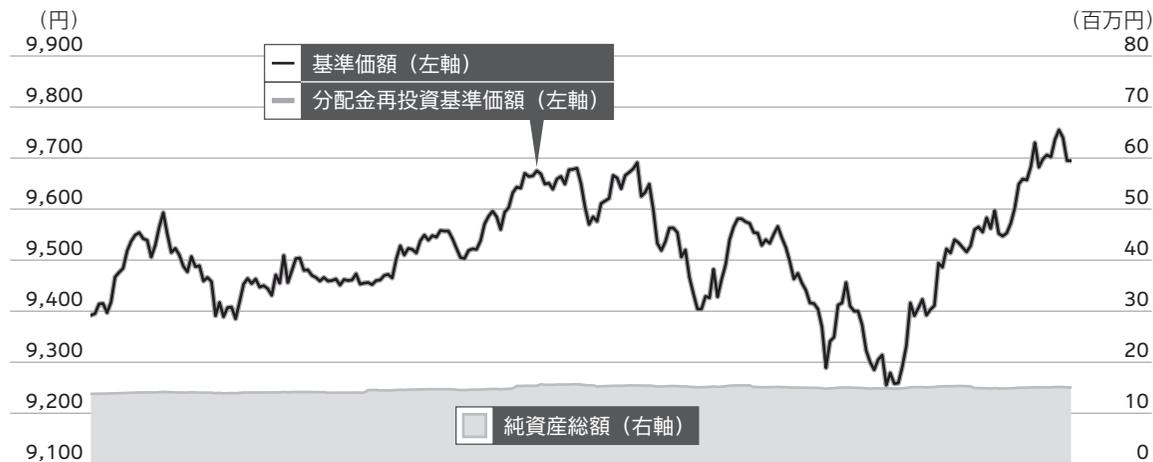
騰落率\* 3.2%

期中分配金合計 ー円

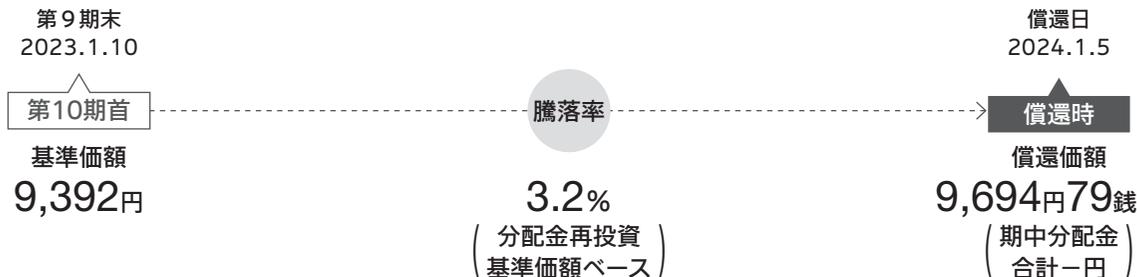
\* 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

# 運用経過

## ● 基準価額の推移



基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2023年1月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、米国と日本の株価指数先物取引および債券先物取引を主要取引対象とし、先進国の公社債等を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### 日米4資産スマートバランス

日米4資産スマートバランス マザーファンドとマネープールマザーファンドを概ね50%ずつ保有しました。日米4資産スマートバランス マザーファンドの基準価額が上昇したことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

### 日米4資産スマートバランス マザーファンド

期中の騰落率は+7.9%となりました。

国内株式および米国株式の上昇により、基準価額は上昇しました。

### マネープールマザーファンド

期中の騰落率は-0.11%となりました。短期金融資産の利回りはマイナス圏で推移したことから、基準価額は小幅に下落しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

## ● 1万口当たりの費用明細

項目	最終期 2023.1.11~2024.1.5		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	67円	0.705%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,519円です。
( 投信会社 )	( 31 )	( 0.325 )	ファンドの運用の対価
( 販売会社 )	( 31 )	( 0.325 )	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
( 受託会社 )	( 5 )	( 0.054 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.022	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 先物・オプション )	( 2 )	( 0.022 )	
(c) その他費用	8	0.084	(c) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
( 保管費用 )	( 0 )	( 0.002 )	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
( 監査費用 )	( 1 )	( 0.007 )	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
( その他 )	( 7 )	( 0.076 )	信託事務の処理にかかるその他の費用等
<b>合計</b>	<b>77</b>	<b>0.811</b>	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

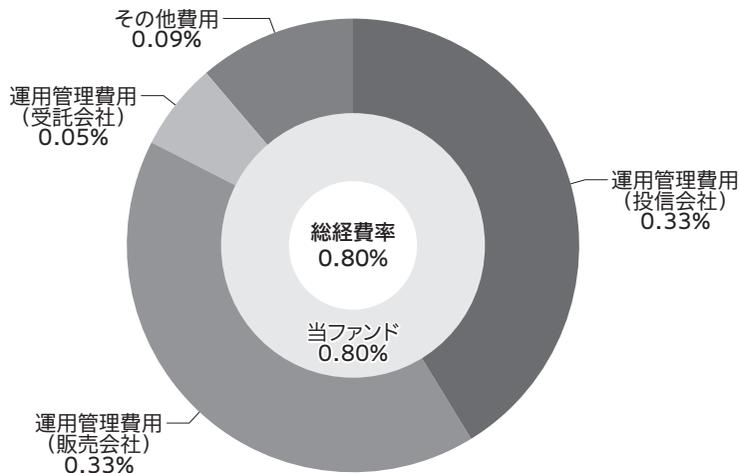
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.80%**です。



1万口当たりの費用明細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ● 最近5年間の基準価額等の推移 2018.1.9~2024.1.5



- 分配金再投資基準価額の推移は、2018年1月9日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、米国と日本の株価指数先物取引および債券先物取引を主要取引対象とし、先進国の公社債等を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

決算日	2018.1.9 決算日	2019.1.8 決算日	2020.1.8 決算日	2021.1.8 決算日	2022.1.11 決算日	2023.1.10 決算日	2024.1.5 償還時
基準（償還）価額	(円) 10,356	10,070	10,145	10,219	10,072	9,392	9,694.79
期中分配金合計（税引前）	(円) —	50	100	50	100	0	—
分配金再投資 基準価額騰落率	(%) —	△ 2.3	1.7	1.2	△ 0.5	△ 6.8	3.2
純資産総額	(百万円) 2,083	14	11	16	13	13	15

## ● 投資環境

### ○国内株式市場

国内株式は上昇しました。

2023年3月中旬に欧米で金融システム不安が高まり下落する局面があったものの、金融システム不安が後退した後は、日本の金融緩和の継続や、相対的に底堅い日本経済が好感され、6月にかけて日本株式は大幅に上昇しました。その後は、堅調な企業決算や円安の進行が上昇要因となった一方、米国の金融引き締め期間の長期化観測や、日銀の政策修正、中国の不動産問題や中東情勢の緊迫化などが重石となり、概ね横ばい圏で推移しました。

### ○米国株式市場

米国株式は上昇しました。

2023年2月の長期金利上昇、3月中旬の金融システム不安の台頭など、下落する局面があったものの、3月下旬以降は、金利低下やテクノロジー関連企業の好決算を受けて、7月にかけて上昇しました。その後は、金融引き締め長期化観測や、中東情勢の緊迫化を受けて、10月にかけて米国株式は下落しました。11月以降は、金融引き締めの長期化観測が後退し期末にかけて米国金利が大幅に低下したことを受けて、米国株式は大幅に上昇しました。

TOPIX（東証株価指数）の推移



S&P 500種指数の推移



## ○国内債券市場

国内債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

期初から早期の金融政策正常化観測が高まっていたものの、2023年3月に金融システム不安を受け、利回りは低下（価格は上昇）しました。その後、6月までは、物価上昇が利回りの上昇要因となった一方で、金融緩和長期化観測が低下要因となり、概ね横ばい圏で推移しました。7月以降は海外金利が上昇、円安が進行するなか、日銀は2度のイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の運用柔軟化を行い、10月にかけて利回りは上昇しました。11月以降は海外金利の低下を受けて、利回りは低下しました。

## ○米国債券市場

米国債券利回りは上昇しました。

2023年2月に強い経済指標の公表が相次ぎ、利回りは上昇しましたが、3月に金融システム不安が台頭し、利回りは大幅に低下しました。その後は、米国の底堅い景気や雇用情勢を背景に金融引き締め期間が長期化するとの観測が高まったことに加え、財政・需給懸念が高まり、10月にかけて利回りは大きく上昇しました。11月以降は、物価上昇率の低下や、需給懸念が和らいだことを受けて、利回りは大きく低下しました。

### 日本債券（10年債）利回りの推移



### 米国債券（10年債）利回りの推移



## ● 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、期を通じて、「日米4資産スマートバランス マザーファンド」および「マネープールマザーファンド」への投資比率を、概ね各50%に維持しました。その後、償還に向けて2024年1月上旬に全売却しました。

### 日米4資産スマートバランスの 組入ファンドの比率

	純資産比
日米4資産スマートバランス マザーファンド	50.2%
マネープールマザーファンド	48.8%

## 🏠 日米4資産スマートバランス マザーファンド

当ファンドの方針通り、月次で各資産のリスクウェイトが均等になるように、各資産の構成比率を調整しました。

ただし、2023年3月に国内株式市場および米国株式市場の緊張度の高まりを示す指標が当ファンドの基準値に達したため、国内株式および米国株式のリスク寄与度を引き下げ、他の2資産はリスク寄与度が均等になるようにリバランスしました。その後、4月初旬に所定の解除条件を満たしたことから、リスクウェイトを回復しました。

### 日米4資産スマートバランス マザーファンドの資産別配分比率

先物	純資産比
国内株式先物	22.2%
米国株式先物	52.7%
国内債券先物	80.0%
米国債券先物	39.9%

注. 各表の比率は、当該ファンドがマザーファンドを保有していた最終日（2024年1月4日）における純資産総額に対する評価額の割合です。

## 🏠 マネープールマザーファンド

短期金融市場において、国債の利回りがマイナスであるため、比較的マイナス幅が小さいコール運用を中心に行いました。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、米国と日本の株価指数先物取引および債券先物取引を主要取引対象とし、先進国の公社債等を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

## ● 分配金

該当事項はありません。

決算期におけるファンドの運用成果<sup>※</sup>をもとに、分配を行うことを目指すファンドです。

- ※ 運用成果には、インカム収入とキャピタルゲイン・ロスの両方を考慮します。  
インカム収入とは債券の利子収入等、キャピタルゲイン・ロスとは値上がり益・値下がり損をいいます。
- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。

※設定来の運用経過については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## <償還を迎えて>

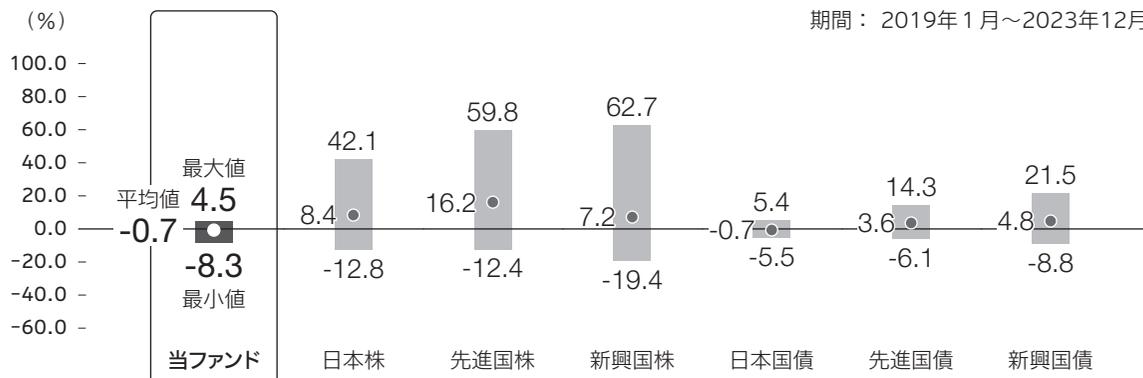
当ファンドは、2024年1月5日をもちまして信託期間を終了し、満期償還とさせていただくこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

## ● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2014年1月16日から2024年1月5日まで
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	 <b>日米4資産スマートバランス</b> 日米4資産スマートバランス マザーファンド受益証券およびマネープールマザーファンド受益証券
	 <b>日米4資産スマートバランス マザーファンド</b> 主要取引対象：米国およびわが国の株価指数先物取引および債券先物取引 主要投資対象：残存期間の短い先進国の公社債等
	 <b>マネープールマザーファンド</b> わが国の公社債等
運用方法	<p>① 日米4資産スマートバランス マザーファンド受益証券およびマネープールマザーファンド受益証券への投資を通じて信託財産の着実な成長を目指します。</p> <p>② 日米4資産スマートバランス マザーファンド受益証券は、株価指数先物取引および債券先物取引等の買建額の時価総額の合計が、原則として当該マザーファンドの信託財産の純資産総額の2倍程度となるよう調整を行います。</p> <p>原則として、ポートフォリオ全体へのリスク寄与度が概ね均等となるように、各資産の組入比率を調整するリスク・パリティ運用を基本とし、1) エンハンス・モデル、2) フロアの設定、3) 下方偏差の利用という3つの仕組みを追加することにより、下落リスクを低減しつつ、安定した収益の確保を目指します。</p> <p>③ 各マザーファンド受益証券への投資比率は、概ね50：50とします。</p> <p>④ 実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>

## ● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

期間：2019年1月～2023年12月



\* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### \* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は13ページをご参照ください。

# 当該投資信託のデータ

## ● 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

償還時における組入ファンドはありません。

※ 組み入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還運用報告書（全体版）に記載しております。

### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



注. 比率は償還時における純資産総額に対する評価額の割合です。

## ● 純資産等

項目	償還時 2024.1.5
純資産総額	15,057,503円
受益権総口数	15,531,549口
1万口当たり償還価額	9,694円79銭

※ 当期中における追加設定元本額は3,049,126円、同解約元本額は2,206,920円です。

## ● 指数に関して

### 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### ■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

#### ■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### ■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

#### ■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

#### ■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

日米4資産スマートバランス

検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0946/sales.html>

The screenshot shows the SOMPO Asset Management website. The main content area displays the fund name '日米4資産スマートバランス (愛称 きんとう君)' and the date '※2024年1月5日償還'. Below this, there are two links: '交付運用報告書 (2023.01.10)' and '運用報告書 (全体版) (2023.01.10)'. The '運用報告書 (全体版)' link is highlighted with a red box. The website header includes the SOMPO logo, 'SOMPO アセットマネジメント', and navigation links for Home, Fund Information, Market & Fund Report, Our Business, and About Us. A search bar is also visible in the top right corner.

各書類の最新版をご確認いただけます。

運交

### 交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

運全

### 運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。